



D&Dホールディングス  
村脇 学 社長

むらわき・まなぶ 1967年生まれ、宮城県出身。2007年D&Dマネージメント創業。15年に現職就任。自動車買取販売、三菱自動車ディーラー、レンタカー事業等事業会社11社を経営。

業務の概要を教えてください。  
車の査定・買取・販売・整備・レンタカーなど、自動車を中核にトータル展開しています。車は社会インフラとしてのモビリティと捉え、観光が重要な産業である沖縄と北海道を重点に営業しています。昨年は、沖縄の大手レンタカー会社トランプレンタカーと、飯谷・整備事業を展開する松宮オートサービスと提携を受けました。また、グループ内には、全国展開しているパンクレンタカーもあり、必要な時に必要な所に車をお届けするビジネスモデルを目指しています。

2022年を振り返って。  
今年ほど、事業をやっている良かったと思つた年はありませんでした。やっと沖縄経済が動き始め、反動でレンタカー不足が課題になりました。そんな中、観光業界の皆さまから、レンタカーを増やしてほしいという切実なご要望をいただいて対応することができ、各方面から感謝されたんです。沖縄は、世界自然遺産に登録されたエリアもあり、素晴らしい文化や伝統を求めて世界中から人が訪れます。公共交通機関や観光バス、タクシーももちろん大切ですが、私たちが手掛けるレンタカーが、離島を含めた沖縄の隅々までお客さまを運ぶインフラの柱になってい

EVを中核に地域活性化  
EVの普及は、環境にもやさしく、災害時には電池としての利用もできます。官民が協力して充電設備を整えたい。野の広いビジネスにもなっています。車は所有からシェアへ動いており、

全国でマンションやホテルにEVを置くことを進めています。一般家庭でも、週末だけなどたまに大型車を出かたいというニーズにもお答えできる環境を整えています。また、地域で課題となっている空き家対策として、

指摘されている配送ドライバーが生活に合った条件で働き方を選択できる体制の整備や、独立する際にカーリースをご提案することなども行っています。グループ内でいろいろな横軸があり、それらを組み合わせることで様々なニーズに対応していきます。

23年の抱負を教えてください。  
本日の意味で観光が復活する年になると思っており、一番の問題は人材の確保と教育です。観光業で働く人こそ、お客さまを笑顔にできるおもてなしが必要であるため、雇用環境の向上に取り組みます。車を軸に据えた事業展開にはさまざまな可能性があり、進化の早い業界でもあります。その可能性を引き出し、お客さまの細かなニーズに応えたいと思っています。



1月1日元旦号・琉球新報

新春トップインタビューに掲載されました

琉球新報1月1日元旦号の新春トップインタビューに、株式会社D&Dホールディングス代表取締役村脇学社長の記事が掲載されました。

(リリースに関するお問い合わせ先)  
株式会社D&Dホールディングス  
経営企画部 TEL: 03-6630-5632

Footer containing D&D Holdings logo, slogan, website URL (https://www.dd-holdings.co.jp/), and contact information (TEL: 03-6630-5632, FAX: 03-5642-6549).